

東京都調布市

明るく潤いと安らぎのある

調布を目指して



調布市は都心から近距離にありながら、多摩川・野川をはじめとする河川、国分寺崖線、深大寺地区の湧水、武蔵野の面影を残す都市農地や屋敷林など、豊かな自然に恵まれたまちです。

市では「明るく潤いと安らぎのある調布」を目指して、花苗を植え、花を咲かせて地域の緑を豊かにすることを目的に、市内の公園や歩道などの緑化を進めるボランティア団体に対して、その活動に要する経費を補助する「花いっぱい運動事業」を進めております。

現在、72団体が花いっぱい運動に参加し、緑化活動に御協力いただいております。

また、花いっぱい運動は緑化以外にも、活動を通して、地域間の交流が深まるとともに、公園の利用者のマナー向上等への効果も期待されます。

令和4年度からは、花いっぱい運動を行っているボランティア団体間の交流や、市民に広く活動内容を知らせてもらうことを



写真コンクール表彰式の様子

真コンクール」では、花いっぱい運動団体が日頃育てている自慢の作品(花壇)を写真展示す

ます。 令和5年度の「調布市花いっぱい運動写真コンクール」を

目的に、「調布市花いっぱい運動写真コンクール」を

るほか、応募作品の中から一般投票で一番人気だった「一番人気賞」、日頃から市内の緑化活動にご協力をいただいている特別支援学校の生徒が選んだ「調布特別支援学校賞」や活動期間や実績等を含め、部内で審査を行った「環境部長賞」などの表彰式を行うなど、多くの市民の方にご来場いただきました。

今後もこうした取り組みを通じて「明るく潤いと安らぎのある調布」になるよう、引き続き緑化活動を推進してまいります。



調布特別支援学校賞



一番人気賞



環境部長賞

東京都武蔵野市

日々の暮らしの中で緑を楽しむ

武蔵野市環境部緑のまち推進課

武蔵野市は、東京都心から近い立地にあり、利便性が高く、低層住宅地が広がる地域であることに加え、吉祥寺をはじめとする商業地や企業の先端研究施設、多くの大学を有しています。

まちなかに目を向けると、都立井の頭恩師公園などの大規模公園の樹林と、玉川上水・千川上水などの水辺が調和しています。さらに、住宅地の花と緑、街路樹、遊び・休息などで親しまれる小規模公園、農地、屋敷林・雑木林などの多彩な緑が身近にあります。

次に、本市の特徴である多彩な緑の中で、花に関する本課の取り組みについてご紹介します。

市立の公園緑地を拠点として花壇の手入れなどの活動をする市民団体は、緑ボランティア団体として市と協定を結んでいます。市は活動に係る費用の一部を助成するとともに、維持管理やイベントなどを、互いに連携し実施しています。

緑の創作園は、公園設立時から23年間継続して活動する緑ボランティア

ア団体により、色とりどりの花の咲く植物が植えられ、季節ごとに様々な景色を創出し、地域に彩りを加えています。毎年5月には、イベントとして、オープンガーデンを開催し、園内で育てたハーブ苗の配布などで、多くの市民に親しまれています。

また、歩道内の植栽帯や公共施設の沿道部への花植え事業として、活動する市民や団体に年2回、花苗を配布しています。色とりどりの花は、景色に彩を加えるとともに、花植えを通じて地域の交流も生まれています。



花植え事業(公共施設沿道部)



花植え事業(公園内花壇)



今後多彩な緑を守り・育むための取り組みを、市民・行政が一丸とな



緑ボランティア団体による公園イベント(緑の創作園、オープンガーデン)



り進めてまいります。

開花する名護市のシンボル「テッポウユリ」と「寒緋桜」を同時に咲くよう調整して、1月下旬の名護さくら祭りと2月1日からの「日本ハムファイターズ春季キャンプ」を観に名護市を訪れる大勢の方へ、日本の春は名護からはじまるとして暖かい冬の観光目

常夏の南国、沖縄県名護市は、人口64,520人の沖縄本島北部の中核都市です。名護市市制50周年記念事業として「第60回全日本花いっぱい名護大会」を新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期し、令和4年3月5日、大会参加者への感染拡大予防を最大限施して開催致しました。大会を通じて、次世代を担う若い世代に「市民主体の花いっぱい運動」の推進と、さらなる発展を目指す機運を高める活動に励んでいます。

通常5月～6月に

沖縄県名護市 花の里づくりの会

会長 儀保 充

玉として会員の皆様とボランティア活動を継続しています。温暖な気候に恵まれます。年中花の咲く沖縄ですが、花の苗を植え1か



花いっぱい大会記念植樹寒緋桜の開花(1月20日)



花壇コンクール最優秀花壇



開花調整テッポウユリの開花



年間20万本の花苗を生産



ツールドおきなわ表彰台飾花



防草土による防草効果の実証試験(3ヶ月目)*効果あり

月もしない間に雑草に覆われるなど、雑草対策に頭を悩せていますが、雑草刈り作業から、雑草の繁殖を抑える「防草土」の使用による実証実験を進め、炎天下での除草作業を軽減

する方策を取り入れて雑草を少なくし、景観の向上をはかり、フラワースイーター名護市を目指し日々活動して行きたいと思えます。



長野県松本市 活動報告

NPO法人 街を花いっぱいにする会

松本市は花いっぱい発祥の地です。

現在、ご加入いただいている会員は、町会（自治会又は町内会）、企業、各種団体、個人会員合わせて総数734名です。

特定非営利活動に係わる事業として、

- ① 街を花いっぱいにする。
- ② 自然を愛護し、環境を美しくすること。
- ③ 花いっぱい運動に関する講習、研究、展示、コンクール等を開催すること。



ハンギングバスケットコンテスト



花壇コンクール(個人の部)



親子で楽しむ花育講座



フラワーバスケットコンテスト

花育講座
花と緑
一日も早い花育を願っています
ブルー系の花材を植栽し、またガラス浮き玉を使用して美しく輝く海を表現しました

部）、花壇コンクール（個人の部・団体の部）と非常に多忙な時期を向かえます。多忙な時期ではありませんが、令和4年度からの新しい事業として取り入れた「親子で楽しむ花育講座」が大人気。最近では募集開始と同時に満席となります。

花育講座においては、「感情」「情操」「情操」の3情を基本としておりますが、幼い頃から花や緑に親しむことで、優しい心を育てるとともに、環境への関心を高めることにもつながるの大きなメリットと捉え、講座の中では「情操」を一番大切にして進めています。子どもたちが若いママ、パパや祖父母と一緒に、笑顔で作品づくりをする姿は微笑ましいです。また、花と緑

に接した時の感情表現を見られることが何よりもうれしいです。
4月に実施しました「イチゴのハンギングバスケット」講座の活動写真を掲載します。

この花育講座は、次世代の育成を図るためにも、また若年層を引き付けるためにも今後の事業として継続することが望ましいと思っています。

6月に開催されましたフラワーバスケットコンテストでは、能登半島地震への復興の願いが込められた作品が展示されておりました。（温かいメッセージが添えられています。）

事務局だより

令和6年度の全国大会は開催されません。

第62回以降の開催都市の意向調査を継続してまいります。会員の皆様におかれましては、市制施行記念事業、また緑花関連の各種イベントを盛り上げる事業の一環として是非、全国大会開催に向けてご検討をいただきたくお願い申し上げます。

第56号

発行日 令和6年7月
発行 全日本花いっぱい連盟事務局
長野県松本市中央1-18-11
TEL 026313213042
FAX 026313216511